

時軍新報

海軍將校の技倆如何

我輩は海軍の將校をして學術に精通し實地に熟練せしむるの必要を説き我將校の力量にして先進海軍國の將校と匹敵するに非ざれば假令多數の堅牢なる軍艦あるも一旦有事の場合に至りて實用を爲さざる可し

Table with columns for ranks (大尉, 中尉, 少尉) and names (e.g., 日相澤 道五, 英リチャード), listing their names and corresponding dates or events.

彼國將校の進級は概して邊級にして且一階級に留まるの年限も永く加ふるに遠洋航海外國派遣等、海上に勤務するも多きが故に實地の練習に充分の機會を得る

老練の強敵なることを忘る可らず若し一旦斯くの如き強敵に對するも我將校の力量にして彼に匹敵せざる

裁判後の成行に關する注意

千嶋事件に付き被告ヒートン會社より提起したる反訴は横濱裁判所に於て一旦棄却せられたるにも拘はらず上海の英國高等法院は原裁判を破棄して更に覆審すべしとの判決を與へたるに就ては日本政府は無論英國樞密院に上告して其權利の伸張を計るべきなるべく從て此裁判は如何に成行すべきか今日に於ては未だ知る可らず

右の對照表に據るときは我國の將官佐官は生徒、少尉補等の如き下級の順序を經歷して昇進したるもの甚だ稀なるを見る可し蓋し海軍草創の際に當り舊藩の海軍に従事したるもの若しくは維新の戦等に從ひたる

○新教育會と今の文部大臣 世間の噂に依れば井上文部大臣に續任され教育者が新に教育會を組織せんとして既に委員を撰んで會期を起すたりと云ふ

○紡績業者 業聯合會と郵船業者と郵船會社を促すは勿論國會議員は去る七時三十分大坂社に打揃ひ同入保山沖に被拍の慶小旗を以て滿鐵